

郵政グローバル戦略検討タスクフォース

～ 内から外へ ～

物流・郵便ソリューション事業のご紹介

TOSHIBA

2024年 2月15日

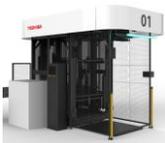
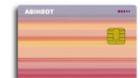
東芝インフラシステムズ株式会社
セキュリティ・自動化システム事業部
物流・郵便ソリューション営業部

会社組織ご紹介



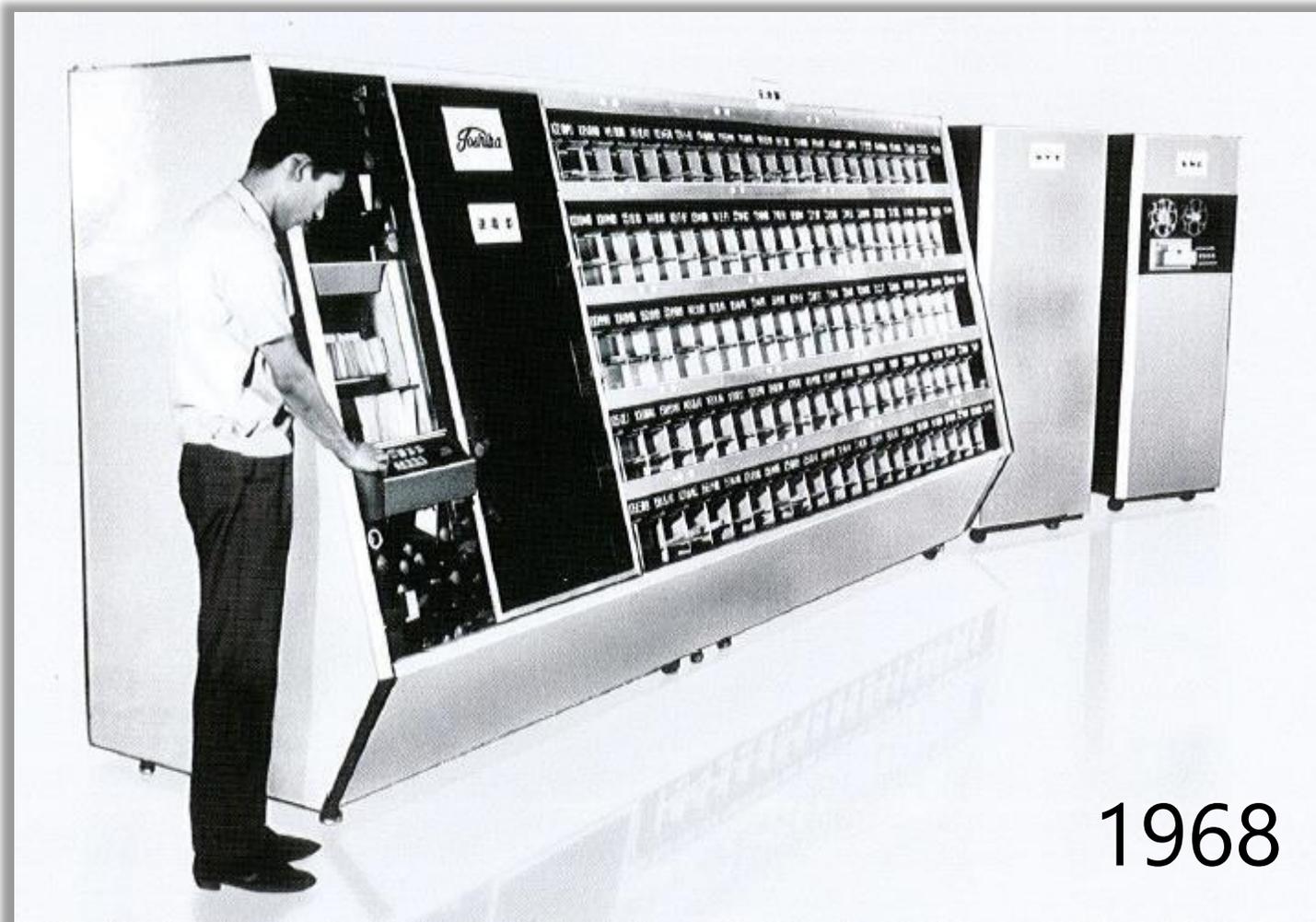
セキュリティ・自動化システム事業部の製品・技術

・コア技術を物流ロボットに応用

	自動化システム (Automation Systems)				セキュリティシステム (Security Systems)		
製品群	 物流システム	 郵便機器システム	 紙幣処理機器システム	 駅務機器システム	 IDシステム	 ICカードシステム	 画像セキュリティシステム
コア技術	画像処理・パターン認識技術						
	センシング技術					ICカードOS技術	生体認証技術
	メカトロニクス技術					ICカード実装技術	
	情報セキュリティ技術						
					無線応用技術		
				特殊印刷技術			

東芝の郵便自動化システムの歴史

世界初の手書き文字(郵便番号)読取区分機を開発、販売



1968年以来、50年以上の実績

- 1968年 世界初の印刷活字と手書き文字を読み取る区分機を開発・納入
- 1989年 郵便番号、住所を読み取り、区分する配達区分機を納入
- 1998年 道順組立機を納入

1,000台以上納入

現在も約850台稼働中、国内シェア約75%

納入実績

世界各国に1,500台以上の郵便・物流機器／システムを納入



郵便・物流自動化ソリューション

郵便や荷物の区分処理センター向けのシステム構築

機器

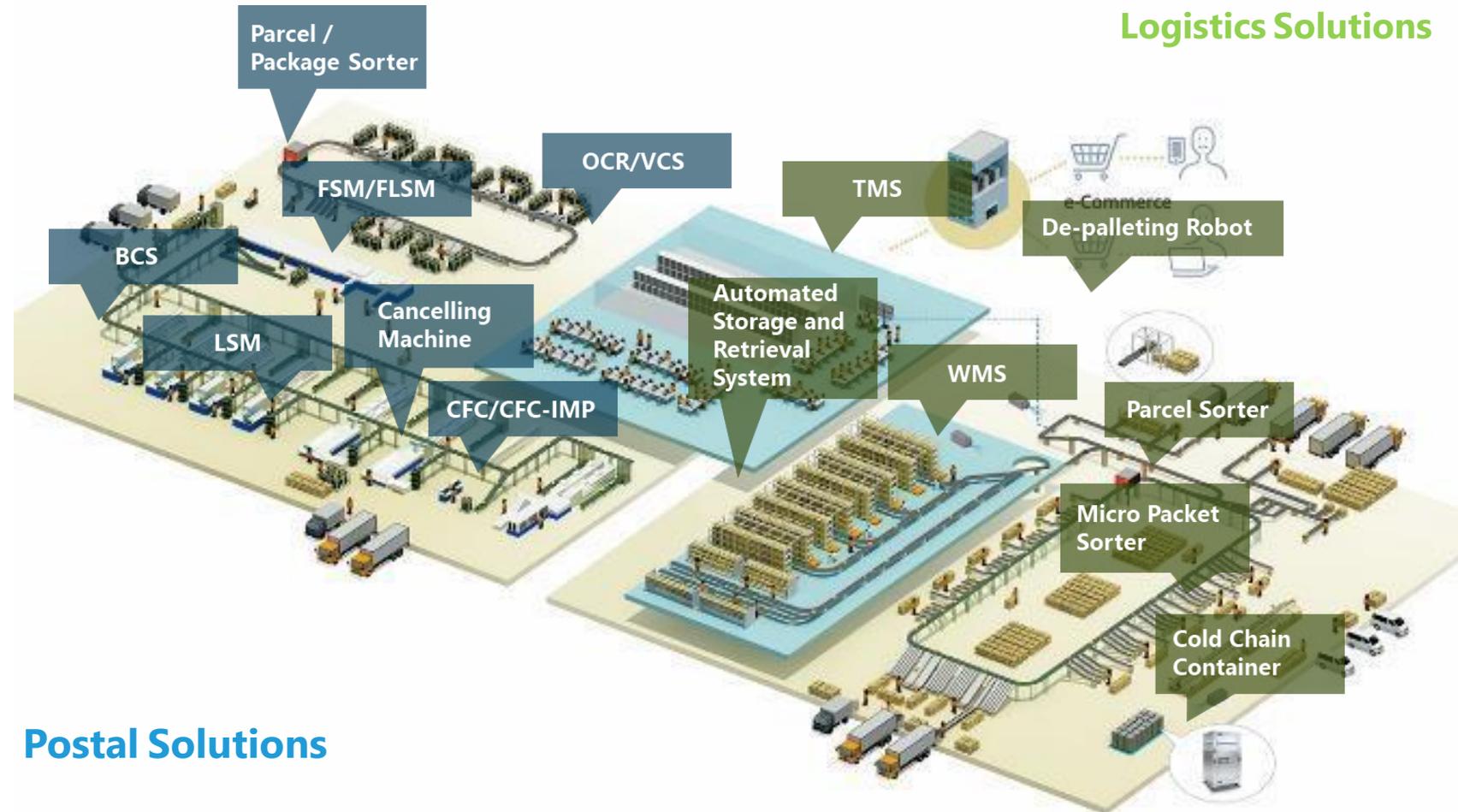
- 各種区分機（小型／大型書状、小包）
- トレイ搬送システム
- 荷降ろしロボット、AGVロボット
- 区分機への自動投入システム
- 倉庫システム
- 周辺装備（トレイ、かご台車 等）

システム

- 自動宛名読み取りシステム（OCR・VCS）
- 倉庫管理システム
- ITシステム…

業務分析・システム導入提案

- 機器配置計画
- 機器台数計画
- 運用計画・分析
- システム構築・導入計画…



東芝の郵便・物流自動化ソリューション

自動化の全体設計から機器製造、据付、保守までトータルソリューションとして提供



各お客様に合わせた最適なシステムをカスタム提案

- 客観的情報の収集
- 現在の運用の調査・分析
- お客様の事業方針を理解
- VOCの収集
- 制約条項の確認

計画的なシステム導入

- 機器の調達・製造・据付
- 各種ITシステムとの統合
- 区分機周辺の機器提案
- 品質保証
- 計画的なシステム導入

導入システムの運用から保守までを支援

- 運用分析
- 保守サービスの提供
- 継続的な改善提案

トータルソリューション実績 例

ロシア郵便モスクワ国際交換局 税関処理を含む国際郵便処理の自動化システム構築

e-Commerceの高まりにより輸入小型小包が急増したため、ロシア郵便は、郵便処理の近代化を 目的とする国内7か所のハブ局への機器配備計画を発表。
求められる機能に必要なシステム、台数、レイアウト、オペレーションフローの提案を含むコンサルティングと、システムの製造、納入、保守までのプロジェクトを履行。
2014年のモスクワ国際交換局自動化案件を皮切りに、以降2021年までに5局の近代化を実施。



トータルソリューション実績 例

区分・仕分け機器をインテグレーション



1
Customs Solution



2
Flats Letter
Sorting Machine



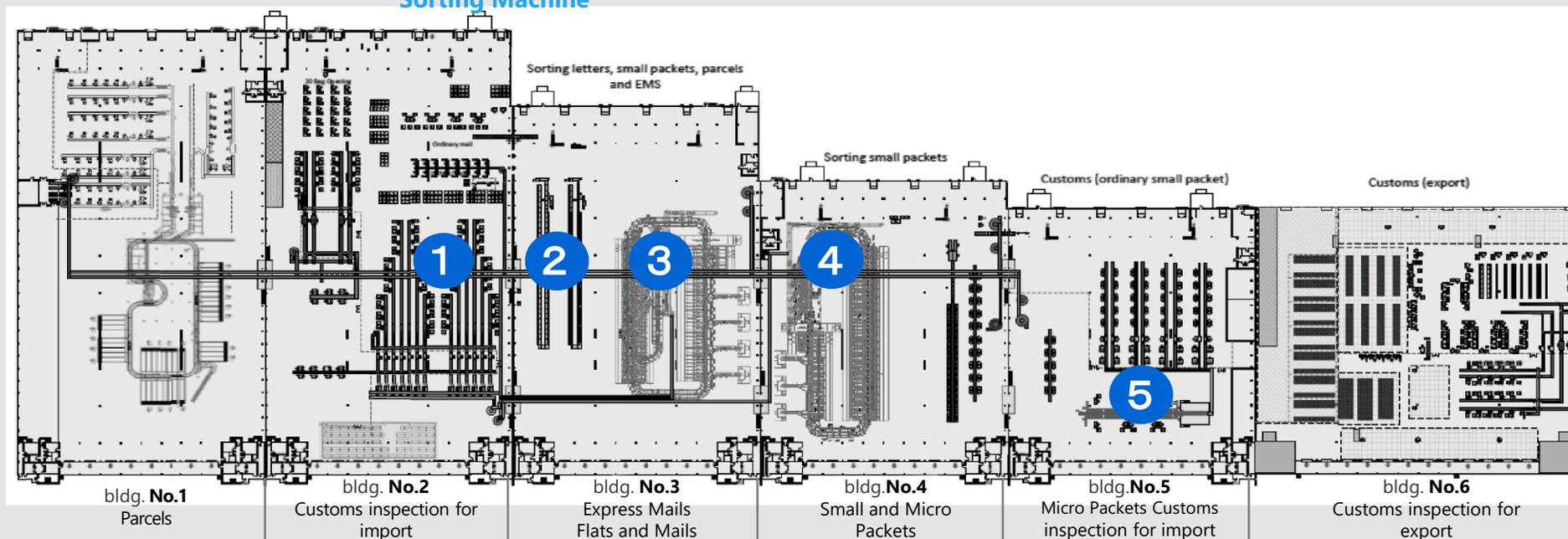
3
Express Mail Sorter



4
Small Packet Sorter



5
Micro Packet Sorter

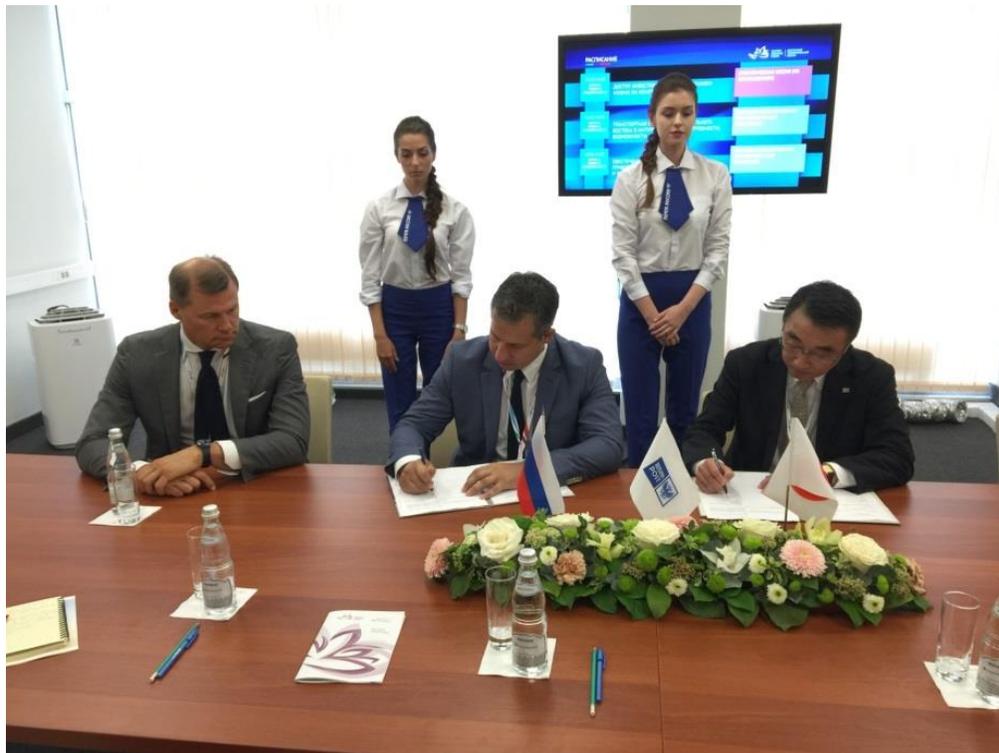


IT, OCR, コンベアシステムで全行程を統合

トータルソリューション実績 例

ロシア郵便との覚書署名（2016年9月@ウラジオストック）

- 2016年9月2日、東方経済フォーラム（@ウラジオストック）の場においてスカーチン副総裁と安達常務が協力の覚書に署名（総務省、日本郵便同席）。
- ロシア郵政ストラシュノフ総裁は、同年12月に予定されているプーチン大統領の来日に合わせて両国首脳の下合意の下、新たな協力の覚書署名に意欲。



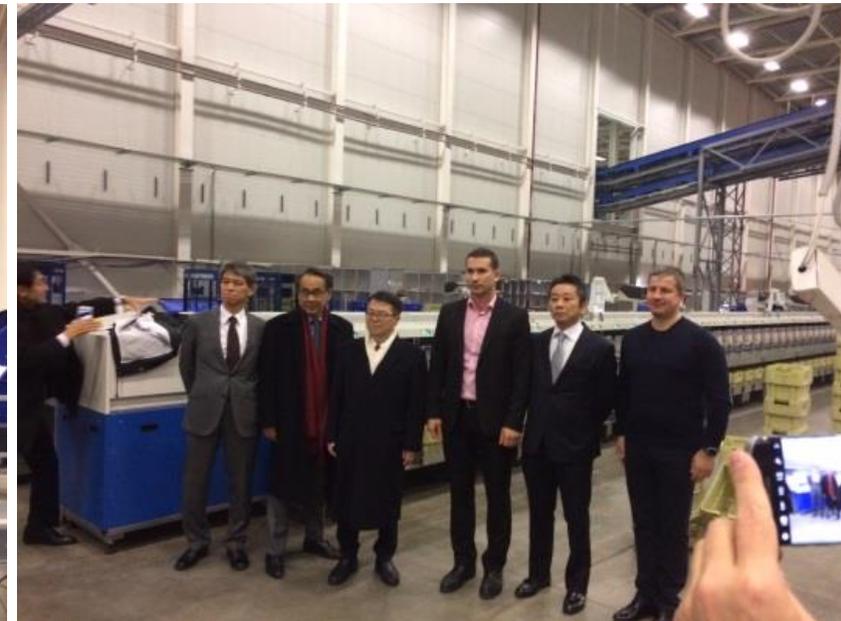
トータルソリューション実績 例

世耕大臣によるモスクワ交換局視察（2016年11月5日）

訪問日時：2016年11月5日（土）、約30分

参加者：

- 世耕大臣一行：世耕経済産業大臣兼ロシア経済分野協力担当大臣、長谷川総理補佐官他 計13名
- 総務省：鈴木総務審議官他、計3名
- 在露日本国大使館：上月大使他、計3名
- ロシア郵便：スカーチン副総裁、Olegハ°レーションマネージャー（Vnukovo局）



トータルソリューション実績 例

モスクワ交換局完工式（2018年7月31日）

開催日時：2018年7月31（火）、約60分

参加者：

- 野田大臣一行：野田総務大臣、大臣秘書官、巻口郵政行政局長他 計13名
- 在露日本国大使館：小泉公使他 計10名
- 日本郵便：谷垣副社長他
- ロシアデジタル通信発展マスコミ省：ノスコフ大臣他
- ロシア郵便：ポドグソフ総裁、スカーチン副総裁他



トータルソリューション実績 例

セルビア郵便初の自動化郵便システムを構築



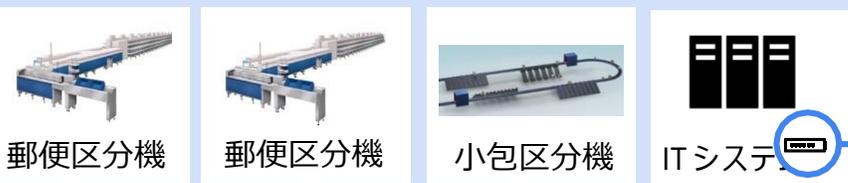
セルビア郵政初の自動化システム導入にあたり、日本郵便様と共同でコンサルを行い、導入機器の選定や運用計画作成を含めたシステム導入プロジェクトを履行した。

ベオグラード局を中心とする国内3局を統合システムで連携させ、運用、保守を継続的に支援中。

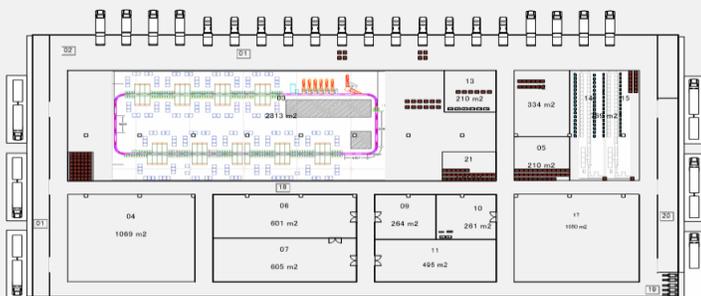
納入実績

セルビア国内の3局を統合IT(OCR)システムで集中管理

ベオグラード局



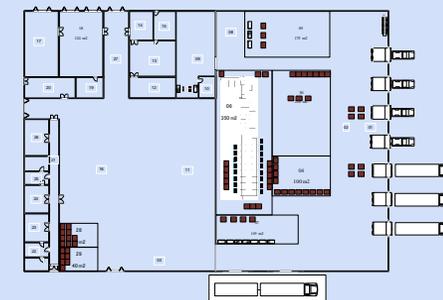
局舎レイアウト



ピサド局



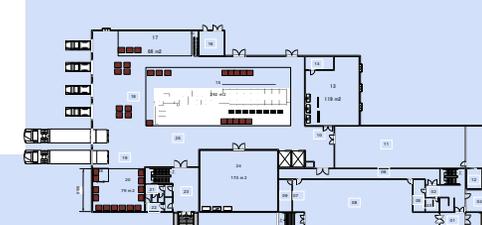
局舎レイアウト



ニシュ局



局舎レイアウト



官民協力例

スロバキア郵便調査研究 ～ 背景と目的 ～

本調査研究では、スロバキア郵便の業務高度化を目指し、現状業務や将来計画、物量予測等について調査を行い、大規模地域区分局や輸送ネットワークの最適化計画、装備すべき機材やレイアウト案等を検討する。それら活動を通じて、日本の郵便関連企業及び郵便インフラシステムのスロバキアへの展開への道筋をつけるとともに、両国郵便事業体間の協力関係の構築を通じた同国との友好関係の強化に繋げることを目指す。

背景

- インフラシステム海外展開戦略2025（令和2年12月10日策定、令和4年6月追補）**
 総務省は、政府の「インフラシステム輸出戦略」の一環として、郵便事業の高度化に取り組む国々に対し、我が国の郵便の優れた業務ノウハウや関連技術を提供することで、両国間の関係強化等に繋げるべく、日本型郵便インフラシステムの海外展開に取り組んできた。この取り組みは2021年以降の新戦略である「総務省海外展開行動戦略2025」でも継続。
- 東欧諸国及びバルト三国における郵便事業の現状に関する概況調査・分析（令和3年度）**
 概況調査の結果、将来的な協力の可能性が高い者としてスロバキア共和国の郵便事業泰（スロバキア郵便）を特定し、現地調査を実施。
- 総務省とスロバキア郵便との間での協議結果**
 主要区分局における配送ネットワークの最適化要望。

目的

- スロバキアの大規模地域区分局の配置や役割分担の見直しを含む輸送ネットワークの最適化計画提案**
 日本の郵便関連機材の導入による郵便品質の向上をはじめとした郵便業務の高度化
- 将来的な実証実験の可能性を模索し、日本の郵便関連企業及び郵便インフラシステムのスロバキアへの展開に道筋をつける**

官民協力例

スロバキア郵便調査研究 ～ 調査研究項目 ～

本調査研究では、スロバキア郵便の現状業務や業務高度化方針・計画・取組状況を調査し、大規模地域区局の配置や役割分担を含む輸送ネットワークの最適化や必要機材、レイアウト等について検討・具体的提言を行う。

調査項目

(1) スロバキアにおける郵便事業の高度化に関する国の戦略・政策等及びスロバキア郵便の方針等の調査

- ① 郵便事業の高度化に関する国の戦略・政策、方針等の調査 ② スロバキア郵便としての事業高度化に関する戦略・施策、方針等の調査

(2) 国の戦略・政策及び方針当に規定された施策に関するスロバキア郵便の取組の進捗状況の調査及び課題やニーズ等の聴取と分析

- ① スロバキアの郵便事業において高度化されている業務とされていない業務、並びに今後高度化できる業務及びその優先順位等に関する調査、整理、分析
② 同国法規制の調査及び郵便事業体の現場における意見の聴取、並びに人財・組織、技術・インフラ、予算・財政、その他の課題・ニーズ等

(3) スロバキア郵便の現状、将来計画・物量予測等に関する調査

- ① 輸送ネットワーク、集配業務、及び郵便関連機材の現状
② 郵便物及び小包の物数データ、区分局配置や処理の流れ、オペレーションスケジュール、各幹線輸送にける物量、交通事情等
③ 郵便関連機材の現状等（法的規制、手続規定、導入状況や過去の事例、機器選定要素等）
④ 将来的な業務再編に向けた計画・物量予測等（局移転・統廃合計画及び進捗状況、処理物数の将来予測等）

(4) 大規模地域区分局の配置や役割分担の見直しを含む輸送ネットワークの最適化計画、装備すべき機材やレイアウト案策定

- ① 大規模地域区分局の配置や役割分担の見直しを含む輸送ネットワークの最適化計画
② 装備すべき機材やレイアウト案 ③ ロードマップ案や優先着手事項の提案

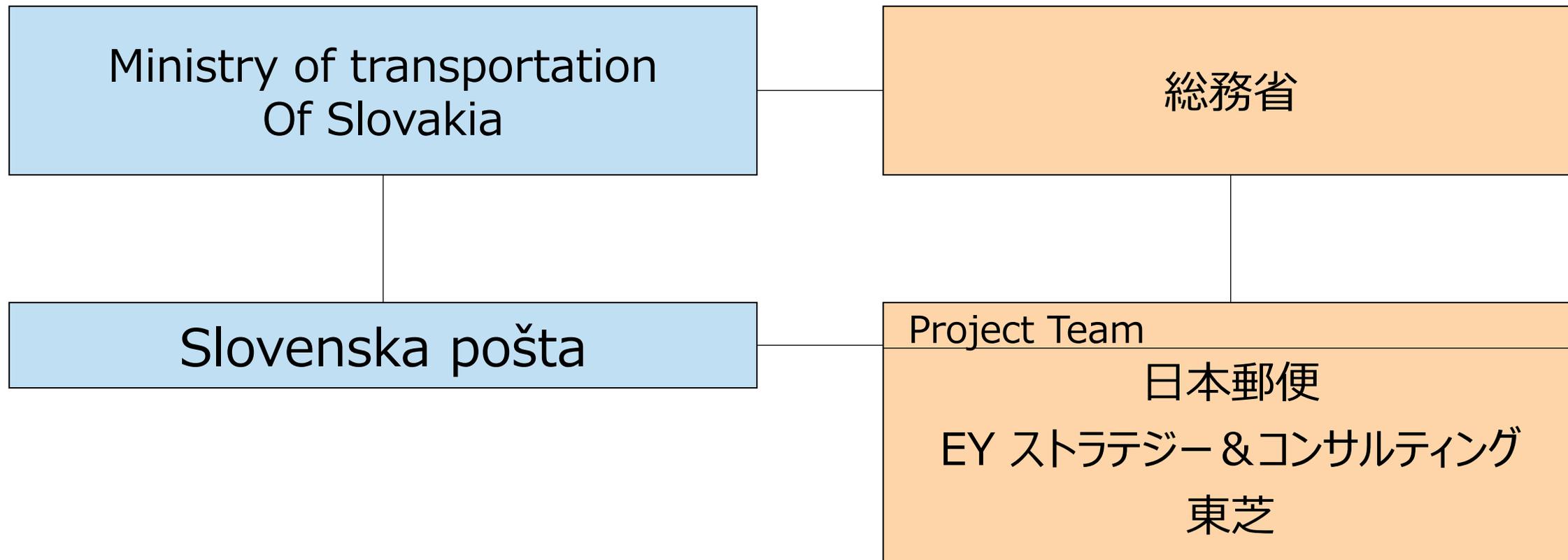
官民協力例

スロバキア郵便調査研究 ～調査範囲～

ブラチスラバ国際交換局、ブラチスラバ地域区分局、ニトラ地域区分局、 Trenčín地域区分局、ズヴォレン地域区分局、ジリナ地域区分局、コシツェ地域区分局、コシツェ郵便局、コシツェ国際交換局を現地訪問し、業務調査を行う。



スロバキア郵便調査研究 ～体制～



官民協力例

スロバキア郵便調査研究 ～ キックオフミーティング ～



海外での事業経験から

➤ 苦労した点

- 商習慣や制度（法規制、税制、各種手続、組織内ルールや要求事項、など）の違い
- コミュニケーション（言語、考え方、文化、など）
- 投資／調達計画等の情報入手（現地パートナーの発掘）

➤ 成功／失敗ポイント

- （装置、システムの機能・性能・価格）
- 誠実、柔軟な対応
- スケジュールキープ
- 情報不足、または入手遅れ

➤ 官民一体での取り組みなどについて

- 日本国／日本政府の信用力
- 各国大使、大使館の発言力、交渉力、機動力（情報収集力）
- 日本郵便の高度なサービスやノウハウに関する名声

ご清聴ありがとうございました。

- 登録商標

本文に記載されている商品名、社名は、各社の商標および登録商標の場合があります。

- 著作権

本資料内に記載されている企画アイデア、システムチャートなどは、東芝インフラシステムズ株式会社（以下、当社）に全て権利が帰属します。本資料の正常な使い方除き、当社の書面による同意なしには、本提案書の企画アイデア、システムチャートなどの一部または全部を問わず、複製を禁じています。

本技術資料には当社の機密情報が含まれておりますので、当社の書面による承諾がなく第3者に開示することはできません。また、当社の承諾を得た場合であっても、本技術情報は外国為替及び外国貿易法の定める特定技術に該当するため、非居住者に提供する場合には、同法に基づく許可を要することがあります。